

栗東市の農業に関する中学生アンケート調査結果（概要） 令和3年1月

◆調査の目的

本調査は、栗東市内中学校に通う学生を対象として、農業の持つイメージや農業との関わり方に関する意向等をお聞きしました。

調査結果は、『(仮称)栗東市農業振興基本計画』検討にあたり、次代の担い手としての可能性等をふまえた将来像及び施策の方向性等の検討資料として活用します。

◆調査の概要

調査対象	市内中学校 在学中の中学二年生（約750名）
調査方法	校内での直接配布、回収
調査日	令和2年10月～11月頃
回収数	有効回収数 686票

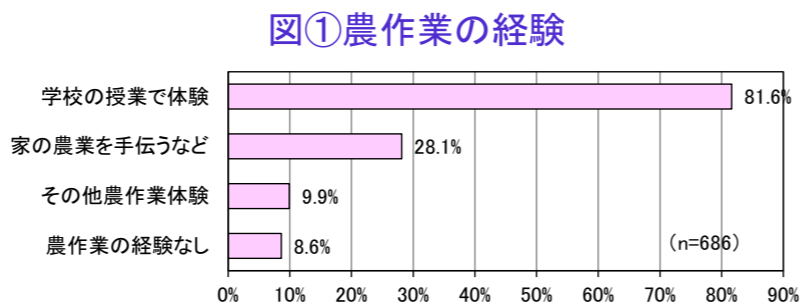
主な調査結果

※グラフ中の（n=数値）はサンプル数を示します。

農業との関わりについて

・家族に農業従事者がいる回答者は4割弱に上り、具体的には「祖父母」が最も多くあげられています。

・農作業の経験の有無について、回答者の9割超が経験有りとしており、うち「学校の授業で体験」が8割を超え最も多くなります。（図①）

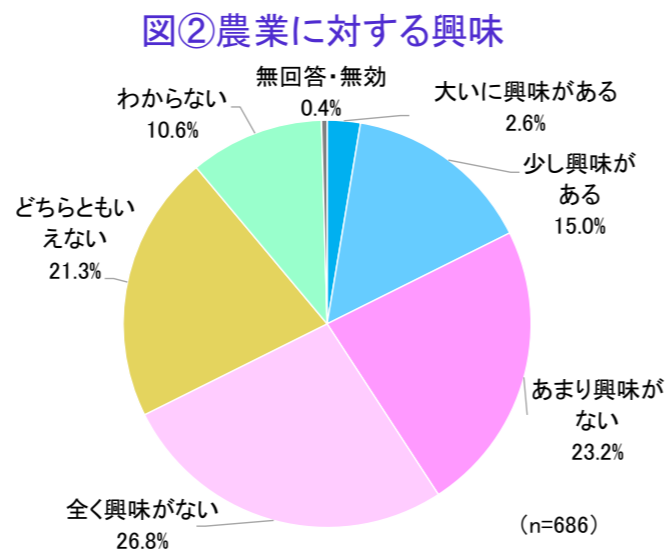


農業に対する興味、農業という仕事について

◇農業に対する興味

・農業に対する興味として、「全く興味がない」が最も多く、「あまり興味がない」を合わせた回答者の半数が農業に「興味なし」と回答しました。

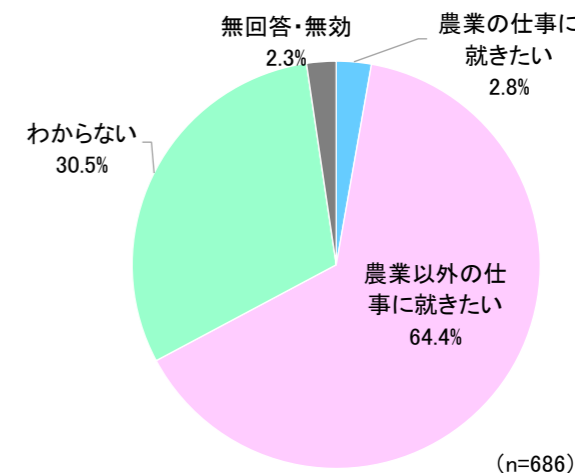
・農業に「興味あり」とする回答者は、「大いに興味がある」及び「少し興味がある」を合わせた回答者の2割弱に上ります。（図②）



◇農業という仕事について

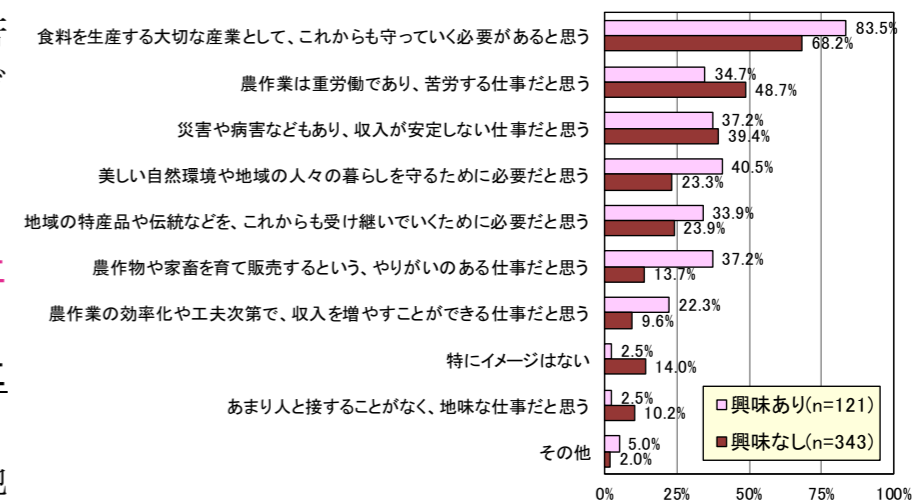
・将来の仕事について、「農業の仕事に就きたい」とする回答者は1割未満（2.8%）にとどまります。（図③）

・農業に興味ありとする回答者に絞ると、図③将来の仕事（農業の仕事に就きたいか）農業の仕事に就きたい回答者の割合は1割程度まで増え、その理由として「楽しそうだから」「自分で作物を育ててみたい」等が挙げられています。



・農業という仕事に対するイメージとして、農業に興味ありとする回答者は「大切な産業として、これからも守っていく必要がある」や「美しい自然環境や地域の人々の暮らしを守るために必要」などを多く挙げる一方、興味なしとする回答者は「重労働であり、苦勞する仕事だと思う」などを多く挙げています。（図④）

図④ 農業という仕事に対するイメージ（農業に対する興味別※1）

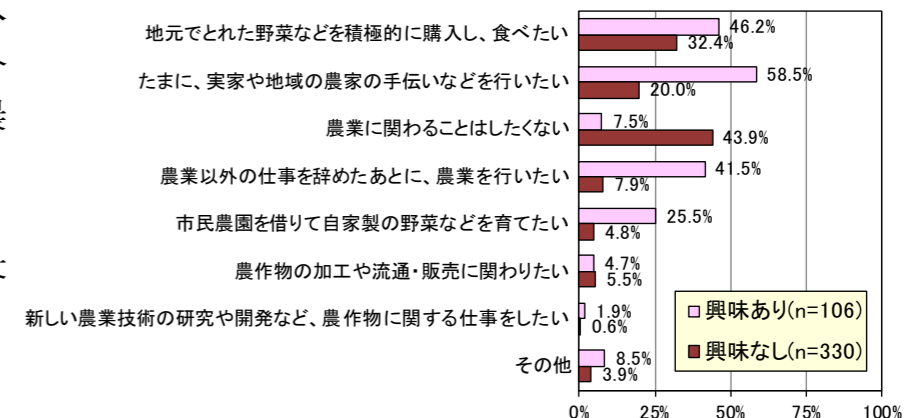


◇将来の農業との関わりについて

・将来の農業との関わりについては、農業に興味ありとする回答者は「実家や地域の農家の手伝いなどを行いたい。」「地元でとれた野菜などを積極的に購入し、食べたい。」「農業以外の仕事を辞めたあとに、農業を行いたい」などを多く挙げました。

・一方、興味なしとする回答者は、「農業に関わることはしたくない」などを多く挙げました。（図⑤）

図⑤ 将来の農業との関係（農業に対する興味別※1）※2



※1 農業に対する興味「どちらともいえない」「わからない」を除く
※2 「農業以外の仕事に就きたい」「わからない」とする回答者を対象

●次代を担う世代について、農業に興味を持ち、また将来の担い手となりうる層が一定程度みられることから、これら潜在的な層へのアプローチを意識した段階的かつ継続的な担い手確保、育成の取組を推進していく必要があります。